

ロスプリベンションへの道4 協働防犯(12)

対談「AI実装に向け、その障壁を突破せよ！」

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

登壇者

- セーフィー株式会社 営業本部 佐伯 隆高
- 株式会社アラ プロダクト事業本部 営業部 山下 勝也
- 日本電気株式会社 バイオメトリクス・ビジョンAI統括部 田中 俊彦
- 同社：工業会日本万引防止システム協会(JEAS) 会長 稲本 義範

毎に実施しています。実地にあたっては日本自動車防犯システム協会様のご協力をいただき、弊方の会員外を含めて実施してまいります。

本日の資料にはありませんが、EAS(顔認証システム)は堅固な市場を持ち、今後も伸びる市場と見られています。その中でも、セキュリティ製品・システムにAIを実装させる流れは加速することが予想される一方で、AI実装による利点や運用の際の留意点などについて関係者各々の理解が進んでいるという現状を踏まえ、セキュリティ産業新聞では工業会日本万引防止システム協会(JEAS)にその普及啓蒙を提案した結果、JEASの協力を得て紙面対談が実施された。今号ではその内容を紹介します。

セーフィー株式会社 セーフィー株式会社 佐伯 隆高氏

「最初に各社概要について紹介させていただきます。私どもはセーフィー株式会社として、顔認証システムの設置店舗数 5年で5・7倍、AIシステムの設置店舗数 4年で1・8倍の成長を遂げています。この成長率です。このような数字だけみると日本は個人情報がゆるいから顔認証が進んだと錯覚する方がいるかもしれませんが、日本は個人情報が厳格な国であり、その一方で、AI実装による利点や運用の際の留意点などについて関係者各々の理解が進んでいるという現状を踏まえ、セキュリティ産業新聞では工業会日本万引防止システム協会(JEAS)にその普及啓蒙を提案した結果、JEASの協力を得て紙面対談が実施された。今号ではその内容を紹介します。」



JEAS 稲本 義範 会長

稲本：今日は「AI実装に向け、その障壁を突破せよ」というテーマで新しい会員に集まってもらいました。最初に6月7日の工業会JEASの通常総会で発表された『2023年万引防止システムの市場規模に関する調査報告書』について説明いたします。この調査は、万引き防止システム(EAS: Electronic Article Surveillance)電子商品監視 機器、顔認証システム、AIシステムなどの市場規模を把握し、今後の万引き防止システムの普及促進のための基礎資料に資することを目的とした調査で2年



「顔認証システムの設置店舗数 5年で5・7倍」

「AIシステムの設置店舗数 4年で1・8倍」

「顔認証システムの設置店舗数 5年で5・7倍」

「AIシステムの設置店舗数 4年で1・8倍」

「と店舗では自然的にロスが増えることがあり、AIを活用した万引対策をロス削減ソリューションとして提供させていただいております。それが、AIアプリ(アイアップ)人物検索というソリューションで、大きな効果が期待されています。AIは過去の映像から特定の人物を検索する機能で、2点目は登録した特定の人物が再度来店した時にそれを通知する機能です。この機能は、お客様が来店した際にそれを通知する機能です。この機能は、お客様が来店した際にそれを通知する機能です。」

「AIと映像を用いることで、様々な分析を実現しているのですが、それらを組み合わせたソリューションを構築していくことが、AIと映像の活用における大きな課題です。AIと映像の活用における大きな課題は、AIと映像の活用における大きな課題です。」

「AIと映像を用いることで、様々な分析を実現しているのですが、それらを組み合わせたソリューションを構築していくことが、AIと映像の活用における大きな課題です。」

店舗領域の省人化をお手伝い

防犯のみならず、映像プラットフォームを活用した小売/サービス業界向けソリューションの拡充を推進

防犯のみならず、映像プラットフォームを活用した小売/サービス業界向けソリューションの拡充を推進

独自開発による「行動認識AI」技術のバイオニア

映像から人の行動を検知

映像から人の行動を検知

事故や犯罪を未然に防ぐ

不適切利用の防止に営業ルール

顧客企業による不適切利用を以下の手法で防止

- 顧客提案前に提案先や営業資料の内容確認を営業/ESG/企画で実施。
- 目的外利用の例や他社の炎上事例を説明する資料を用いて顧客にリスクを説明。
- 当社から顧客にチェックリストを提供。不備あれば対応方法を指導。
- 不適切利用が発覚した場合、サービス利用規約に則り利用停止する。

フロー図のイメージ

	消費者(利用者)	A事業者	B委託先
収集	アプリケーションから個人情報(氏名、生年月日、顔写真、...)の入力		
保管・利用・提供		データベースへの格納・編集	データの提供(ID、顔写真、...)
廃棄		分析結果の編集	ID、分析結果の送付
		サービスの提供	
		サービス提供後10ヶ月以内廃棄	A事業者へ送付後、廃棄

2. 防犯利用と商用利用

「AIと映像を用いることで、様々な分析を実現しているのですが、それらを組み合わせたソリューションを構築していくことが、AIと映像の活用における大きな課題です。」

映像解析×LLMで報告書の作成業務を自動化

映像とテキスト双方を扱うNEC独自のファウンデーションモデルを活用して様々なDXを推進

映像解析×LLMで報告書の作成業務を自動化

「AIと映像を用いることで、様々な分析を実現しているのですが、それらを組み合わせたソリューションを構築していくことが、AIと映像の活用における大きな課題です。」

「AIと映像を用いることで、様々な分析を実現しているのですが、それらを組み合わせたソリューションを構築していくことが、AIと映像の活用における大きな課題です。」

「AIと映像を用いることで、様々な分析を実現しているのですが、それらを組み合わせたソリューションを構築していくことが、AIと映像の活用における大きな課題です。」

「AIと映像を用いることで、様々な分析を実現しているのですが、それらを組み合わせたソリューションを構築していくことが、AIと映像の活用における大きな課題です。」